

湖沼環境学習論

～湖沼の環境を科学的に理解し、伝えるための基礎理解～

授業の目的と概要

琵琶湖や世界の湖沼・河川の事例を交えながら、湖沼・河川およびその集水域と人間の相互作用、地球環境問題が湖沼環境に与える影響を学ぶ。水環境に関する基礎的な概念、例えば「水が汚い」という概念を説明でき、環境学習プログラムや教材の作成ができる能力を身につけることを目指す。

担当教員	教育学部 石川 俊之 教授
開講曜限	木曜日 2限 (10:30～12:00)
開講日	4月10、17、24
	5月1、8、15、22、29
	6月5、12、19、26
	7月3、10、17
会場	大津キャンパス
受講形態	対面授業
教科書情報 (補足)	参考書：『湖と池の生物学：生物適応から群集倫理・保全まで』／Christer Bronmar k, Lars-Anders Hansson著,共立出版,2007。『日本の水環境行政』／日本水環境学会編,ぎょうせい,2009。『陸水学』／アレキサンダー・J. ホーン, チャールス・R. ゴールドマン,京都大学学術出版会,1999。『小辞典暮らしの水：飲む、使う、捨てる水についての基礎知識』／建築設備技術者協会,講談社,2002。『水と生命の生態学：水に生きる生物たちの多様な姿を追う』／日高敏隆,講談社,2000。『バーバパパかせいへいく』／アネット・チゾン, タラス・テイラー著,2005。『湖の世界をさぐる』／西條八束,村上哲生 共著,小峰書店,1997 参考資料：随時、印刷して配布する。